

箕輪町

公民館だより

発行：箕輪町公民館

☎79-2178

5月15日(水)、令和6年度の活動がスタート！

大学・大学院・学級 合同開講式

箕輪町公民館文化講演会が開かれました



【全5学級が一堂に会して開講式】

令和6年度、ふきはら大学20名、ふきはら大学院29名、なでしこ学級26名、おやじ学級25名、けやき学級20名、計120名の仲間が一同に会し、各学級・大学が開講。今年度も学級生以外の皆様が誰でも参加できる「公開講座」を計画しています。

合同開講式には、ご来賓の副町長さんから、これからの学びへ激励のメッセージをいただきました。

本年度、新たに着任した市川英明公民館長からは、「皆さんの経験、知識、技で、仲間と共に思い切った講座を展開してほしい。元気に楽しく、新たな挑戦で素晴らしい発見があることを期待してい

ます」と開講あいさつがありました。

受講生代表；ふきはら大学院3年、日向聖一さんから「公民館の大学や学級は、学びや人との出会い、交流の場となります。大いにチャレンジし、有意義で自主的な講座をつくるよう共に頑張りましょう」と決意あいさつがありました。

<モルック体験会が始動>

昨年、第1回モルック大会が開催されモルックに親しむ町民の皆さんが増えてきました。今年度は10月に第2回大会開催を予定しており、そこに向けて月1回の体験会を行っていく予定です。今年度初の体験会には、親子連れ、お祖父さんとお孫さん、ご近所の仲間、友人、区の分館役員など、小さなお子さんからシニアの皆さんまで幅広い年代の方々が約40名集まり練習や対抗戦を行って技を磨き合いました。



【一投入魂…楽しく、真剣に！】

<文化講演会「人類は宇宙人に会えるのか～ここまで進んでいる宇宙探査～」>

講師；アマチュア天文家・天文ガイド 野口輝雄 さん（伊那市）

38億年前、原始の地球が誕生した…ゼロを並べてみると気が遠くなるような太古に思いを馳せ、人類がどう誕生したか、その仮説に基づき地球以外に地球外生命体の存在の可能性がある星に向かって、人類が発信し続けている。人類を月や火星に送る計画も進みつつある。水や空気に近い気体の存在が認められている星があるが、残念ながら現在までに地球外生命体の存在は確認されていない。しかし、気の遠くなりそうな大きさの太陽系も、銀河系の中では、ほんの点でしかなく、宇宙全体の大きさを考えると地球と同じ条件の星が存在する可能性はゼロではない。普段は聞くことのできない、膨大なスケールのお話に、好奇心が揺さぶられる講演会でした。



【多くの資料を使った講演】



【宇宙探査の今を澆瀨と語る野口さん】

＊6月20日(木)全学級合同、映画鑑賞会を行いました＊

映画「ひまわり」鑑賞後の感想より

- 風にたなびくひまわりの花、とても美しくきれいだと思ったけれど、本当は悲しく見えました。今、戦争をしているウクライナのひまわりの畑はミサイルや戦車、爆弾、地雷で大変だろうと思います。人間の記憶さえもおかしくしてしまう戦争、本当に嫌です。戦争は、とにかく残酷。その一言に尽きる。
- ウクライナの国花が「ひまわり」であることを今回、知りました。
- アントニオとようやく駅で出会った時、何も言わずに汽車に飛び乗り、汽車の中で号泣するジョバンナ。また帰らないかもしれないと思いつつアントニオがイタリアへ帰ることを許すロシア人の妻。この二人の女性の強さと美しさも印象的でした。
- 悲劇的な映画とも受け取れますが、お互いに新しい家庭で平穏に暮らしていくのだろうと自分では思っています。
- 日本で平和に暮らす毎日ですが、食べる物がなかったり今日の命の保障がなかったら…そんな日常生活を考えると生きた心地がしません。どうか「世界中が平和になりますように」と祈るばかりです。